10．我がまち自慢

（１）島原市の日本一、日本初など全国ランクで上位に該当するもの

①　平成新山
日本で一番新しい山

②　舞岳ふれあいロード
８８８８段の遊歩道の段数

③　水無川砂防事業
全国初の無人化機械施工

④　ジオパーク国際ユネスコ会議（平成２４年５月）
島原復興アリーナをメイン会場として、日本で初めて開催

⑤　火山都市国際会議（平成１９年１１月）
アジア（日本）で初めての開催

⑥　島原半島ユネスコ世界ジオパーク
「日本ジオパーク」国内認定第１号（平成２０年１２月）
「世界ジオパーク」国内認定第１号（平成２１年８月）

⑦　自衛隊災害派遣日数（雲仙・普賢岳噴火災害時）
１，６５８日（平成３年６月３日から平成７年１２月１６日まで）は
災害派遣としては過去最長（※参考　第２位は、東日本大震災の１７４日）

⑧　だいこんの年間収穫量（令和3年）
春だいこん・・・収穫量12,000トンは全国で第２位
秋冬だいこん・・収穫量14,900トンは全国で第４位

⑨　はくさいの年間収穫量（令和3年）
春はくさい・・・収穫量　12,500トンは全国で第２位

⑩　にんじんの年間収穫量（令和3年）
春夏にんじん・・収穫量10,500トンは全国で第３位
冬にんじん・・・収穫量 8,440トンは全国で第７位

10．我がまち自慢

⑪　眉山

日本三大難山の一つ（他は妙義山（群馬県）と茶臼山（長野県））寛政４年（１７９２年）に起きた「島原大変」は、日本の火山災害史上最大の被害をもたらした。

⑫　旧島原藩薬園跡

江戸時代に経営された薬園で国指定史跡となっている４件のうちの一つ
（他は小石川植物園（御楽園養生所跡）（東京都）と佐多旧薬園（鹿児島県）と
森野旧薬園（奈良県））

⑬　島原城

一国一城令発布後に、新規築城が許された全国でも数少ない新設の城郭。
島原・天草一揆という実戦経験を有し、かつ落城しなかった城郭。
県内の藩庁として、機能をした城郭の中では最大規模の城郭。
令和６年１２月２０日国史跡指定答申あり。

⑭　島原温泉

環境省・観光庁・内閣府・経済産業省が後援として実施されている全国コンテスト「温泉総選挙２０１８」で島原温泉が、「歴史・文化部門」で全国第１位に輝いた。

⑮　島原市温泉給湯所

民間工場からの排湯を熱源とするヒートポンプ方式により、高度な複合熱利用システムを構築することで、ＣＯ２排出量を約１，００１トン、年間６８％、エネルギーコスト７３％削減することに成功した。これにより「平成２９年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰（対策技術先導導入部門）」を受賞した。

⑯　一野遺跡

一野式土器（円筒形貝殻条痕文土器）が多数出土し、この形の土器を西九州の縄文早期の土器として位置づけられた初めての遺跡。

⑰　礫石原遺跡

礫石原式土器が出土し、この形の土器を西九州の縄文晩期の土器として位置づけられた初めての遺跡。

10．我がまち自慢

（２）島原市の長崎県一、長崎県初など県ランクで上位に該当するもの

①　市政

長崎県内では市政施行３番目昭和１５年４月、長崎県下で３番目に市政を施行。令和２年４月１日で８０周年を迎えた。昭和３０年には三会村と、平成１８年１月１日には有明町と合併し平成２８年１月１日に１０周年を迎えた。

②　鶏・鶏卵年間算出額（令和3年）

年間算出額　３６５千万円は県内で第１位

③　島原市島原湊

坂本龍馬長崎初上陸地

④　島原守護神「しまばらん」

「ゆるキャラブランプリ２０１８」にて、全国１０位。県下で第１位（３連覇）

⑤　小原下遺跡

長崎県による発掘調査　県内第一号

（３）その他

①　島原新聞

全国でも２、３紙しかない１００年以上続いている地方紙で、前身は明治３２年、「開国新聞」という名で月３回発行され、戦時中は言論統制により「長崎日報」に統合されたが、昭和２１年１２月、再び「島原新聞」として復刊された。

島原新聞は１００年余り、地元に密着した紙面作りに徹し、島原地方の政治・経済・文化などが多く記載されており、近現代史料の宝庫となっている。

②　島原鉄道

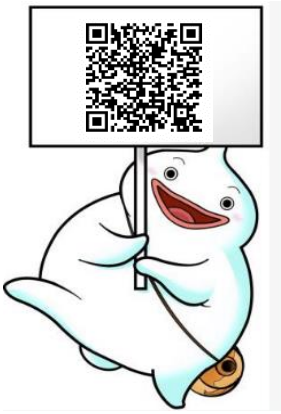
明治４１年（1908年）５月創立
明治４４年（1911年）開業「諫早－愛野間」
大正２年（1913年）開通「諫早－島原湊間」

島原鉄道の開業時の蒸気機関車は、鉄道院から譲り受けた鉄道院150型（１号機関車）。これは、日本で最初の鉄道開業のため輸入された第１号機で、歴史の教科書にも出てくる新橋－横浜間の鉄道開業に使用された機関車である。その後、昭和５年に鉄道省に返還、現在は、さいたま市にある鉄道博物館に展示され、国の重要文化財となっている。現在の１号機関車の左サイドタンクには、当時の植木元太郎島鉄社長直筆の「惜別感無量」の銘板が今も装着されている。

なお、植木元太郎氏は、島原市の初代市長を務められ、島原市霊丘公園内に植木氏の銅像が設置されている。

③　島原市役所　新庁舎

公益財団法人日本デザイン振興会が主催する２０２１年度グッドデザイン賞を受賞。街の賑わいの中心となるピロティ空間の「大手広場」や、大手川沿いの「川床デッキ」は島原の歴史・文化・自然が重なる場である設計と評価され、市庁舎としては珍しい庁舎見学会も実施している。



島原守護神しまばらん

島原市ホームページからもご覧いただけます。